第8回韓日未来フォーラム報告書

 大阪大学朝鮮語専攻一回生 緑谷 泉

私は今回初めてこの韓日未来フォーラムに参加させてもらったのですが、参加するまでに各自で行う事前学習から実際に討論に参加しているとき、そして参加し終わった後に至るまでそのすべての過程が自分にとって本当に良い経験になったと思います。初めは、同世代の韓国人の方と触れ合う機会が日常的にほとんどないのにも関わらずいきなり慰安婦問題や在日コリアンの問題といったセンシティブな話題で討論が出来るのかと不安に思っていましたが、各討論グループに別れた途端日本人も韓国人もそれぞれの意見を臆することなく述べている姿を見て自分は何を心配していたのだろうと思いました。

私は在日コリアンの問題について討論したのですが、正直自分が在日コリアンでないとその本当の気持ちは決して理解できないし周りに在日コリアンの人がいないというメンバーが多かったので、議論は難航しました。私の場合、朝鮮語専攻の友人の中で在日コリアンの子が何人もいるし、中学、高校時代の同級生や後輩にも在日コリアンの子が何人もいたため、以前から在日コリアンの人々は比較的身近な存在のように感じていました。日常生活を過ごす上で日本人も在日コリアンも何の違いもないし、彼ら彼女らに対して差別的な態度で接する人も見たことがありませんでした。在日コリアンだからって何も私達とは変わらない、ましてや差別する理由なんて何もないじゃないか。これが私の育ってきた環境の雰囲気でした。だからこそ私は今まで在日コリアンの問題について深刻に捉えたことも無かったし、真剣に考えようとしたこともありませんでした。しかし今回韓日未来フォーラムに参加するにあたって在日コリアンの人々について調べた中で、彼らがこれまで受けてきた壮絶な差別の歴史や今も残る社会的な差別のことを知り、見て見ぬ振りをしてはいけない深刻な問題であると初めて強く認識しました。私たちの様な今の若い世代は在日コリアンに対する特別な感情や差別的な意識はほとんど持っていないように思われますが、私たちの親や祖父母の世代の人々には彼らに対して良くないイメージを持っている人が多いというのも事実です。自分の周りが差別していないからといって在日コリアンに対する偏見が完全になくなった訳ではないし、今でも不当な扱いを受けている人々がいるということを忘れてはいけないと感じさせられました。また、在日コリアンに対する韓国人側の意見やイメージを聞くことが出来たのもこういったフォーラムだからこそだったと思います。普段韓国人の方の意見を聞く機会はなかなか無いので、すごく貴重な経験でした。グループで話し合った結論をどうやって全体に発表するのかを考えることは難しかったですが、メンバー同士試行錯誤しながら１つのものに向かっていく過程はすごく充実した時間に感じられました。

また、今回参加した韓日未来フォーラムで印象的だったのは討論の時間だけでなく、他の参加者とたわいもない話をして盛り上がったり、一緒にご飯を食べに行ったりカラオケに行ったりして楽しい時間をたくさん過ごせたことです。韓国人メンバーも日本人メンバーも一緒にゲームをしたり色々な話をしたりして過ごした時間は私にとって本当にかけがえのない思い出になりました。今回出会えた人達との縁をこれからも大切にしていきたいと思います。

二泊三日、長いようで本当に短かった第8回韓日未来フォーラムはすごく内容の濃いものでした。今回感じたことや考えたことを今後の日韓関係をより良いものにしていくために自分ができることについて考えていく上で生かせていければ良いと思いました。



